

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05030031

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	7	介護保険事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度		B	
単位施策	1	地域包括ケアの推進	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	介護認定審査会資料作成システム更新事業					
事業期間	平成26年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	システム更新数					
事業目標	一式					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	5	保健福祉課	
			関係課	6	地域包括支援センター	
					#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	○介護認定審査会資料作成システムの更新を行う。 ※事業費全額を一般会計から繰入する		介護認定審査会資料作成システム更新委託料 ※一般会計繰入	左記のとおり (前年度からの繰越)		
	事業費(千円)	800	0	800	0	0
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	800		800		
実績事業費	事業費(千円)	778	0	0	778	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	その他	778			778	
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		(実施内容等) 全額を翌年度へ繰越	(実施内容等) システム更新 介護認定審査会資料作成		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値		一式		
		年度達成率	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続	全体達成率	0%	0%	97%	97%
		備考欄				

事業名	介護認定審査会資料作成システム更新事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	前田 忠和

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町介護保険被保険者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	システム更新の実施	
【抱える課題やニーズは】	既存端末等の経年劣化対応及び効率的に資料を作成するためのソフトウェア更改	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	既存端末及び関連ソフトウェアを更新し、適切かつ効率的に要介護認定事務を執り行う。	① システム更新	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	既存端末及び関連ソフトウェアの更新		目標値	1式
			実績値	1式
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	システム更新	専門業者への業務委託		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	介護認定審査会の資料作成には必要不可欠なシステムであり、当該事業を実施しない場合、要介護認定事務に支障が生じるため、保険者である町が担うべき事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	専門業者へ業務委託することにより、既存データをスムーズに移行することができ、短期間で更新作業を完了することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	既存端末を使用することにより、事務費の抑制を図るとともに、ソフトウェアを更新することにより、事務作業の効率が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての介護保険被保険者を対象とした介護認定審査会の資料作成を行うためのソフトウェア更新であることから、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり最新のシステムへ更新することができ、目標が達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
当面、国等においてシステムの更新予定はないことから、事業終了とする。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止